

第16回スペクトル管理SWG議事録

1. 日時:平成16年9月17日(金) 10:00~18:30

2. 場所:TTC事務局4F DE会議室

3. 出欠者:

・出席会員数/全会員数 21/34(出席数には議長委任状を含む)

・出席委員数/全委員数 37/71(出席数には議長委任状を含む)

以上により会議成立

4. 会議資料:議事次第、各種寄書

5. 議事要約

5-1. 議事次第について承認

5-2. 議事担当 NTT東

5-3. 前回議事録について承認<SMS-16-01>

5-4. スペクトル適合性確認結果報告書への追加を確認<SMS-16-02>

・長野県共同電算社提出の[LR2-VDSL]が、スペクトル適合性確認結果報告書(2004.09.15 版)に追加された。
(9/16Web 掲載済)

5-5. 課題表の確認<SMS-16-03>

会合最後に、今回の更新と併せて確認した。

5-6. 一般の課題

5-6-1. フィールド上での運用方法についての見直し<SMS-16-04>

・本課題は本SWGでは議論しない事が確認された。イー・アクセス社がコンビーナとなり、別アドホックを開催し、検討を進める。

5-7. JJ-100.01 第3版に向けて

5-7-1. 一般論<SMS-16-eA-01>

・「第3版制定時の既存システムの扱いについて」は、第3版での改定内容と併せて検討する。

5-7-1. バンドプラン<SMS-16-07,08,09>

・1.1MHz以上、12MHz以下のバンドプランについては課題C.5.3.4がオープンであるため、引き続き検討の対象とする。課題C.5.2「バンドプランを定義するか?」を、「バンドプランを検討する」と修正し、合意とする。

5-7-2. 線路モデル<SMS-16-10,11,12,13,14,15>

ビット数

・15以外のビット数への変更、コーディングゲインの変更が提案され、以下の課題がオープンで新設された。
C.4.5(課題内容修正)、C.4.5.1、C.4.5.2、C.4.11、C.4.11.1、C.4.12、C.4.12.1。

漏話減衰量

・漏話減衰量の累積値として、カッド内干渉源からの漏話電力と隣接カッド干渉源からの漏話電力の総和の累積99%値(危険率1%値)を使用する。(課題C.4.6.3 表記変更の上、合意)

干渉源数

- ・課題 C.4.6.3 の合意をふまえ、継続議論とする。

TCM-ISDN の扱い

- ・継続議論とする。

TCM - ISDN が被干渉時の SNR 計算式の修正

- ・修正後の計算結果の情報提供のみ。NEC 社がクロスチェックを行い、計算結果が一致する事を確認済み。

5 - 7 - 3 . 保護判定基準値<SMS-16-16,17,18,19,20,21>

考え方

- ・保護判定基準の考え方についての課題(C.3.1、C.3.2、C.3.3、C.3.4、C.3.4.1、C.3.8、C.4.4、C.4.4)は、別途事業者間のアドホックにて検討を行う事とする。

- ・上記アドホックは以下の予定で開催する。

 コンピナー: アッカネットワークス、NTT 東日本

 開催日時: 9月28日(火) 13:00 ~ TTC 事務局 D,E 会議室

 10月1日(金) 時間、場所は未定。別途 NTT 東日本より周知する。

緩和値

- ・緩和値については、第2版での記述内容で十分であるため新たな記述は追加しない事とする。

下限値

- ・保護判定基準の下限値は設けない事で合意とし、課題 C.3.7、C.3.7.1 はクローズする。

クラス A 仕様システムの扱い

- ・G.992.1 Annex C(OL)クラス A 仕様は、同クラス C 仕様と同一方式であり、運用にも差分がないため、クラス C 仕様にマージし、クラス C とする。

5 - 7 - 4 . 伝送システムのクラス分け<SMS-16-23>

- ・新たなクラス(救済用の特例方式)を追加するか? 新たな制限方法を追加するか? について、課題に追加し、今後議論していく事とする。(課題 C.2.2.4、C.2.3、C.2.3.1 新設オープン)

5 - 8 . 課題表整理

- ・JJ-100.01 第3版までの暫定運用関連課題 B.3.1 に関してはクローズとする。
- ・EU の影響の評価方法関連課題 C.3.5 はクローズとする。

6 . 今後の予定

- ・次回以降の会合は以下の日程で開催予定。

 10月8日(金) 10:00 ~ TTC 4F

 10月29日(金) 10:00 ~ TTC 4F

以上